

新しいタイプのスギ花粉対策

スギ花粉アレルゲンを不活化し、
非アレルゲン物質に変換させる
スターフルーツ葉成分配合の新しい

「スギ花粉対策ストッキング」誕生。



1. 発売背景 -花粉症とは?-

近年、花粉症に悩む方は増加傾向にあり、日本人の2割程度が花粉症の患者であるというデータもあります。花粉症は、アレルゲン（アレルギーを起こしうる物質）を含む花粉が体内に入ったときに作られる抗体と、肥満細胞の結合から始まります。抗体と肥満細胞の結合物に、さらにアレルゲン物質（花粉）が進入してくると、肥満細胞に結合した抗体とアレルゲンが結合し、その結果、ヒスタミンなどの化学伝達物質が放出され、くしゃみや鼻水などの花粉症症状が起こるのです。

花粉症の対策としては、マスクなどで体内に花粉が入ることを低減する方法や、抗ヒスタミン剤の投与などが広く知られていますが、今回の商品は、スギ花粉アレルゲンを不活化する働きを持つスターフルーツ葉成分を付着させることで、はくだけのスギ花粉ケアを実現しました。

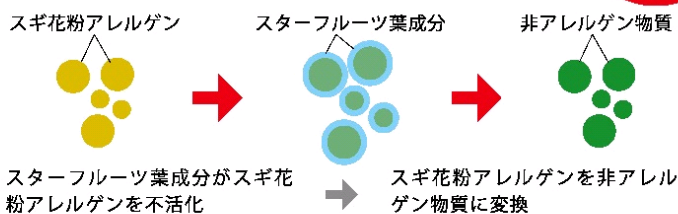
2. スターフルーツ成分の不活化のメカニズム

スターフルーツ葉には、スギ花粉アレルゲンを非アレルゲン物質に変換（不活化）する働きがあります。

今回の商品は、その成分をストッキングの生地に付着させています。

スギ花粉アレルゲンが非アレルゲン物質に変換（不活化）されることで、スギ花粉が体内に入ったときに、肥満細胞に結合した抗体と、スギ花粉アレルゲンが結合しにくくなり、ヒスタミンなどの放出を抑制すると言われています。

スギ花粉アレルゲンを不活化させる スターフルーツ葉成分の仕組み



新技術
繊維製品への機能剤の
付与方法とその製品
特許申請中

スギ花粉アレルゲン不活化性能評価

